

赤ちゃんの耳のきこえ（聴覚）の検査について～保護者の方へ～

山梨県

生まれてくる赤ちゃんの1,000人のうち1～2人は、生まれつき耳のきこえに障害を持つと言われています。その場合には、早く発見して、適切な援助をしてあげることが赤ちゃんのこぼと心の成長のためにはとても大切です。

早期に障害を見つけて適切な援助をしていくために、生まれた時に耳のきこえの状態を調べる「きこえの検査」をお受けになることをお勧めします。なお、検査費用は自己負担になります。詳しくは、出産を予定している医療機関におたずね下さい。

どんな検査ですか？

新生児聴覚検査あるいは新生児聴覚スクリーニング検査などと呼ばれており、赤ちゃんが眠っている間に刺激音を聴かせて、脳波を測定し判定する方法（自動聴性脳幹反応：「自動ABR」）と、内耳から放射される小さな音を測定し判定する方法（耳音響放射：「OAE」）があります。いずれも短時間で安全に行える検査で、赤ちゃんは何の痛みも感じませんし、副作用もありません。薬も使いません。検査の結果は「パス（pass）」または「要再検（refer）」のいずれかで分かります。

検査結果が「要再検（refer）」であった場合はどうしたらいいですか？

もし、検査の結果が「要再検（refer）」であった場合でも、直ちに耳のきこえに障害があることを意味するものではありません。生まれたばかりの赤ちゃんは、耳の中に液体が残っていて再検査が必要になったり、また、検査時に泣いたり、動いたりしてうまく判定できなかった可能性もあります。

自動ABRでは約1%の赤ちゃんが「要再検（refer）」と判定されます。OAEの「要再検（refer）」となる率は自動ABRよりやや高いとされています。これまでの実績では、生まれつきの聴覚障害が発生する割合は0.1～0.2%とされています。「要再検（refer）」と判定された場合は、**耳のきこえの状態を確認するために、必ずさらに詳しい聴力検査を受けて下さい。**検査結果の記載された紹介状を持参して、すみやかに紹介先の耳鼻咽喉科を受診しましょう。

検査結果が「パス（pass）」の場合は、一生、耳のきこえの心配はありませんか？

検査結果が「パス（pass）」の場合でも、成長の過程で中耳炎やおたふく風邪など後になって耳のきこえに障害が起こる場合もあります。

また、非常にまれではありますが、検査機器の精度の限界により、聴覚障害を見落とす可能性も否定しきれません。このため、裏面のチェックリストを参考にして、お子さんの耳のきこえ（聴覚）の発達に注意してください。このことは、聴覚障害を見つけるだけでなくお子さんの健やかな成長を見守る上でも大切ですので是非やってみて下さい。

新生児聴覚検査は、あくまでも任意の検査です。気になることがありましたら担当の産科医・小児科医やお住まいの市町村役場、保健所などに相談してください。

（お問い合わせ 山梨県福祉保健部健康増進課母子保健・難病担当 電話 055-223-1496）

家庭でできる耳のきこえとことばの発達のチェックリスト

赤ちゃんは1歳前でも、色々な音を聞いたり、声を出したりして、話し始めるための準備をしています。耳のきこえの状態に注意することは、お子さんの健やかな成長のためにとっても大切です。

出生後すぐに、きこえの障害がないかどうかの検査ができますが、これにパスした場合でも、中耳炎やおたふく風邪によって、後からきこえの障害が起こることもあります。

また、検査を受けない場合でも、お子さんの耳のきこえに日頃から注意をしていくことが大切です。

以下の各項目は、お子さんの耳のきこえとことばの発達を月齢毎に書き出したものです。

個人差もありますが、月齢毎にチェックした項目が半分以下の場合は、念のため、医師や市町村役場等に相談して下さい。

【3 か月頃】

- () 大きな音に驚く。
- () 大きな音で目を覚ます。
- () 音がする方を向く。
- () 泣いているときに、声をかけると泣きやむ。
- () あやすと笑う。
- () 話しかけると、「アー」「ウー」などと声を出す。

【6 か月頃】

- () 音がする方を向く。
- () 音が出るおもちゃを好む。
- () 両親など、よく知っている人の声を聞きわける。
- () 声を出して笑う。
- () 「キャッキャッ」と声を出してよろこぶ。
- () 人に向かって声を出す。

【9 か月頃】

- () 名前を呼ぶとふりむく。
- () 「イナイナイバー」の遊びを喜ぶ。
- () 叱った声「ダメッ!」「コラ!」などという、手を引っ込めたり、泣き出したりする。
- () おもちゃに向かって声を出す。
- () 「マ」「パ」「バ」などの音を出す。
- () 「チャ」「ダダ」などの音を出す。

【12 か月頃】

- () 「ちょうだい」「ねんね」「いらっしやい」などのことばを理解する。
- () 「バイバイ」のことばに反応する。
- () 大人のことばをまねようとする。
- () 意味のあることばではないが、さかんにおしゃべりをする。
- () 意味があることばを1つか2つ言える。(食べ物のことを「マンマ」、おかあさんを「ママ」など)
- () 単語の一部をまねして言う。

【1 歳 6 か月頃】

- () 絵本を読んでもらいたがる。
- () 絵本を見て知っているものを指す。
- () 簡単ないいつけがわかる。(「その本を取って」「このゴミを捨てて」など)
- () 意味があることばを1つか2つ言える。
- () 意味があることばを3つ以上言える。
- () 絵本を見て知っているものの名前を言う。